

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：森林整備費

事業名 県営林植栽・保育事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林保全課 水源林保全係 電話番号：058-272-1111(内4416)

E-mail：c11519@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 634 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	634	285	0	0	0	0	0	0	349
決定額	634	285	0	0	0	0	0	0	349

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・令和5年3月末現在、6,452.4haの県営林（県有林：3,974.2ha 県行造林：2,478.2ha）を管理している。
- ・水源かん養や県土の保全などの公益的機能を維持・発揮させるため、県営林を適正かつ効率的に管理していくことが必要である。

(2) 事業内容

- ・県民の財産である県営林を、国の補助制度を有効に活用しながら適正に管理する。

<令和6年度計画>

事業種別 雪起し
 事業量 2.0ha
 事業費 634千円（国庫285、一財349）
 予定箇所 揖斐川町久瀬

- ・令和2～4年度は、間伐、下刈などの国補助対象事業は全て、提案型施業モデル事業により実施していたため、当該事業は該当がなかった。
- ・令和6年度は、令和5年度迄で提案型施業モデル事業が終了した箇所について、引き続き必要な下刈事業を当該事業により実施する。
- ・県営林事業全体については、現在の第10期県営林経営計画に引き続き、令和6～10年度を期間とする第11期県営林経営計画を令和5年度中に策定し、これに基づき計画的に実施していく。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国の補助対象事業（作業種及び林齢等による）として行う。
補助率：国費 51%

(4) 類似事業の有無

有 県営林保育・管理事業で、国の補助対象とならない事業を実施している。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	634	県営林委託事業費
合計	634	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第10期県営林経営計画（期間：令和1～5年度）に引き続き、令和5年度中に第11期県営林経営計画（期間：令和6～10年度）を定める。

(2) 国・他県の状況

- ・他県においても、各県営林の管理を実施している。

(3) 後年度の財政負担

- ・第11期県営林経営計画（期間：令和6～10年）及び森林の状況に合わせて、適宜必要な管理を実施していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・県営林の管理者である県が事業主体となる必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・県営林において、気象災害による倒木等の被害が発生した場合は速やかに復旧させ、森林を適切に管理していく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R10)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

雪起しは、被害が発生した場合に実施する事業であり目標設定に適さないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 <p style="margin-left: 20px;">雪起し面積：令和2年度 0ha</p>
	指標 設定なし
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 <p style="margin-left: 20px;">雪起し面積：令和3年度 0ha</p>
	指標 設定なし
令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 <p style="margin-left: 20px;">雪起し面積：令和4年度 0ha</p>
	指標 設定なし

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	森林の公益的機能の維持・増進のため、健全な育成と社会的要請に対応した適正な県営林の経営・管理が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	被害の発生時に、必要に応じて実施している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	林業事業体による効率的な森林施業を促進している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>特になし</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>県営林を適切に管理していくため、雪起しは被害発生時に、またその他の保育事業については第11期県営林経営計画に基づき、継続的に実施する必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	